

消防だより

そのときあなたは どうする?

救急編



目の前で人が倒れたらあなたはどうしますか？
心臓が停止した場合、救命率は1分で10%ずつ低下します。
救急車の到着まで、全国平均で約10分。
あなたにできることがあります。

救急車を呼ぶ？ 迷ったら「#7119」



おなか痛いけど
どこの病院に行けば
いいんだろう？



家族が急な発熱。
病院に行くべき？
それとも救急車？



突然の激しい頭痛や
急な息切れ、呼吸困難
などの症状がある

自動音声ガイダンス

医療機関を
お探しの方 **1**

救急相談を
ご希望の方 **2**

電話相談窓口



**24時間
受付
年中無休**

オペレーターや
看護師などが
電話でアドバイス

緊急性が
ない

医療機関
案内



緊急性が
ある

ためらわず

119番通報!



119番通報
するよう案内

倒れている人を発見したら

① 状況を確認

周囲の危険を確認

- 1 道路や駐車場では、車に注意
- 2 倒壊や落下物の恐れがないか確認
- 3 火災・ガス漏れ・感電などに警戒

倒れている人の反応を確認

肩をやさしくたたきながら、だんだんと強く、大きな声で呼びかける。

大丈夫
ですか!?

② 119番通報

協力を依頼

大声で周りの人に助けを求める。
119番通報とAEDの手配を依頼する。

119番通報をするときは

- 1 救急であることを明確に伝える
- 2 来てほしい場所
(住所・建物や交差点などの目印)
- 3 誰が、どのようにして
どうなったか。意識や呼吸など
- 4 倒れている人の情報
(年齢・性別など)
- 5 あなたの名前と連絡先

③ 心肺蘇生法

呼吸確認

胸やお腹の動きを見るなど、普段どおりの呼吸をしているか確認する。

胸骨圧迫

- 胸の真ん中を30回
- 胸が5cm沈む程度
- 100～120回/分で

人工呼吸

- あごを上げる
- 鼻をつまむ
- 2回軽く吹き込む

AEDを使用

AEDは、イラストと音声で使い方を案内します。

- 1 電源を入れる
- 2 電極パッドを貼る
- 3 心電図の自動解析
- 4 電気ショック

繰り返す!

応急手当

倒れている人の意識が
あったり、反応を返して
きた場合は、応急手当を
行ってください。

ケガの手当

- 出血している場合は、きれいなタオルなどで直接圧迫する。
- 骨折している可能性がある場合は、動かさない。
- やけどの場合はすぐ冷やす。

異物除去

- 咳ができれば続けさせる。
- 背中を強く叩く(背部叩打法)
- 背後から腕を回し、胸の下部を握りこぶしで素早く上方へ突き上げる。(腹部突き上げ法)

応急手当を学ぶ

- いざというときのために、応急手当の知識と技術を身につけましょう。久留米広域消防本部では、定期的に応急手当講習を実施しています。



④ 救急隊に引き継ぎ

準備できる場合は

- 1 保険証や診察券
- 2 ふだん飲んでいる薬(おくすり手帳)

- 3 お金
- 4 靴 など

救急車が近づいたら

人手に余裕がある場合は、外に出て案内してもらえると早く到着することができます。

救急車が到着したら

次のことを分かる範囲で伝えてください。

- 1 具合が悪くなった状況や変化
- 2 行った応急手当の内容
- 3 倒れている人の情報(持病、かかりつけ病院、医師の指示など)

「マイナ救急」で情報を確実に伝える!

マイナ救急とは?

救急隊員が、マイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用して、医療情報などを閲覧する仕組みのことです。

マイナ保険証があれば、話すのがつらい時、服用中の薬を忘れてしまった場合でも、より適切な処置を受けられます。日頃からマイナ保険証を携帯しておくことで、いざというときに役立ちます。



マイナ救急は
令和7年10月1日
から開始!



マイナ保険証を
見せると、右記の
情報が伝わります。

あなたの
病歴

お薬の
処方歴

病院の
受診歴

マイナ救急の流れ

1

情報閲覧に
同意



2

マイナ保険証を
読み取る



3

医療情報を
閲覧



4

より適切な
処置や医療
機関の選定



注意! リチウムイオン電池からの火災が増えています!

リチウムイオン電池とは?

スマートフォン、モバイルバッテリー、電動工具、電子タバコなどに使われている充電式電池です。便利な反面、使い方を間違えると発火・爆発の恐れがあります!



火災が増えている理由として考えられること

① 利用機器が急増

モバイルバッテリーや電子機器の普及により、身の回りにある数が多い。

② 低品質・非純正品の流通

安価な製品や偽造品は安全対策が不十分で、過熱・破裂のリスクが高い。

③ 誤った使い方や廃棄

長時間の充電放置、強い衝撃、高温下での放置、ゴミへの混入など。

実際にあった火災事例

事例① 就寝中にモバイルバッテリーから発火!

スマートフォンをモバイルバッテリーで充電しながら就寝。
バッテリーが過熱して発火。寝具に延焼して住宅の一部を焼損。

原因

- 低品質な海外製のモバイルバッテリーを使用
- 長時間の充電放置
- 異常加熱に気づかず就寝



事例② 廃棄されたバッテリーがゴミ収集車で発火!

使用済みのリチウムイオン電池を一般ごみに混ぜて廃棄。
ゴミ収集車内で圧縮時に発火し、車両が一部焼損。

原因

- バッテリーが圧力により破損し発火
- 廃棄方法が適切でなかった



適切な廃棄をお願いします!

発火の危険がありますので、家庭ゴミに出さず適切な処分をお願いします。
処分方法は、各市町の情報をご確認ください。



久留米市



大川市



小郡市



うきは市



大刀洗町



大木町

